

2. 第12回 日本有機農業学会大会の個別報告・ポスター プログラム

個別報告 第一会場（会場：S31、12月11日）

時間	発表者	所属	タイトル
10:00- 10:20	高山耕二・島袋卓・笹山 琢洋・小林美咲・中西良 孝	鹿児島大学農学 部	合鴨農法における野生鳥獣害の現状
10:20- 10:40	池田成志 ¹ ・染谷信孝 ¹ ・ 関口博之 ¹ ・谷藤健 ² ・小 林有紀 ¹ ・小林晃 ¹ ・津田 昌吾 ¹ ・田宮誠司 ¹	農研機構北海道 農業試験場 ¹ 、北 海道立総合研究 機構 ²	植物共生微生物相の解析による有機栽培作物の 特性評価の試み
10:40- 11:00	熊谷均	鳥取県農林総合 研究所農業試験 場	有機栽培大豆におけるLED緑色灯による光防除導 入の可能性調査
11:00- 11:20	佐々木章晴・佐藤和之・ 出町陵・高橋直人・高橋 優太・原田祐樹	北海道当別高等 学校園芸デザイ ン科	ジャガイモ草生栽培による、生育・収量特性と土 壌の反応
11:20- 11:40	八木岡敦	茨城大学大学院 農学研究科	不耕起・草生栽培における物質循環・養分動態の 解明
11:40- 12:00	森則子・三原実・夏秋道 俊	佐賀県農業試験 研究センター	佐賀県における水稻の有機栽培の実態と課題
12:00- 14:00	昼食およびポスター発表		
14:00- 14:20	瀧勝俊	愛知県農業総合試験 場	有機栽培水田におけるアゾラの消滅に伴う窒素 の動態
14:20- 14:40	岩石真嗣・三木孝昭・ 阿部大介・加藤茂	(財)自然農法国際 研究開発センター 農業試験場	有機水稻栽培における転換期の特徴とその対応 —寒冷地有機水田の事例検討—
14:40- 15:00	三木孝昭・阿部大介・ 加藤茂・岩石真嗣	(財)自然農法国際 研究開発センター 農業試験場	寒冷地有機水稻栽培の耕種的防除技術の開発-稲 わらすき込み時期と移植時期の影響-
15:00- 15:20	阿部大介・三木孝昭・ 岩石真嗣	(財)自然農法国際 研究開発センター 農業試験場	水稻非作付け期間の土壤水分の変化がコナギの 発芽に与える影響
15:20- 15:40	田渕浩康・奈良吉主・ 加藤孝太郎・大下穰・ 木嶋利男	(財)微生物応用技 術研究所	冬期畝立て耕起による除草技術の開発とその多 面的機能の解明 -土壤水分とコナギ種子発芽の 関係-
15:40- 16:00	後藤逸男・佐々木三 郎・稲垣開生	東京農業大学応用生 物科学部	東日本大震災による塩害被災農地の復興対策(有 機農業編)
16:00- 16:20	徐屹暉 ¹ ・岩元泉 ²	鹿児島大学大学院連 合農学研究科 ¹ 、鹿児 島大学農学部 ²	中国有機農業の発展と有機認証システムの構築

個別報告 第二会場（会場：S21、 12月11日）

時間	発表者	所属	タイトル
10:00- 10:20	西川芳昭	名古屋大学大学院国際開発研究科	インフォーマル種子システムの現代農業における意義
10:20- 10:40	相川陽一	島根県中山間地域研究センター／一橋大学大学院社会学研究科	中山間地域農業の特性を活かした担い手像の再構築——島根・弥栄町における「ふだん着の有機農業」と有機農業政策を事例にして
10:40- 11:00	胡柏	愛媛大学農学部	有機柑橘栽培の農法と経営
11:00- 11:20	高木知英美	京都大学大学院農学研究科	インドネシアにおける有機農産物の販売形態
11:20- 11:40	久保田裕子 ¹ ・吉野馨子 ²	國學院大学経済学部、法政大学サステイナビリティ研究教育機構	有機農業推進の鍵にぎる消費者—日本有機農業研究会調査結果から
11:40- 12:00	谷口吉光	秋田県立大学地域連携・研究推進センター	地域自主認証の試み：「オーガニックフェスタ in あきた」の事例から
12:00- 14:00	昼食およびポスター発表		
14:00- 14:20	小口広太	明治大学大学院農学研究科	有機農業の受容過程における農民の対応—「採択者」に着目しながら—
14:20- 14:40	本城昇	埼玉大学経済学部	交流のスキルの向上と交流の場のあり方
14:40- 15:00	松木宏美	同志社大学大学院総合政策科学研究科	ポスター教材「有機農業で育むいのち」の活用事例
15:00- 15:20	有坂昌平	埼玉大学大学院経済科学研究科	日本における環境支払の現状と課題
15:20- 15:40	野中昌法 ¹ ・ 原田直樹 ¹ ・ 小松崎将一 ²	新潟大学農学部 ¹ 、茨城大学農学部 ²	二本松東和地域の里山・水田の放射能汚染の実態と取り組み
15:40- 16:00	飯塚理恵子	茨城大学農学部	地域の暮らしの視点からみた福島第一原発事故—二本松市東和地域における取り組みから—
16:00- 16:20	長谷川浩	福島県有機農業ネットワーク	福島県における民間の放射能汚染検査体制の広がり—農産物の事例—
16:20- 16:40	蜷木朋子・近藤綾子・後藤逸男	東京農業大学応用生物科学部	原発事故による放射能汚染農地対策にゼオライトは有効か？
16:40- 17:00	日鷹一雅 ¹ ・ 海老沢誠 ² ・ 嶺田拓也 ³	愛媛大学農学部 ¹ 、ゆうきの里東和 ² 、(独)農研機構・農村工学研究所 ³	フクシマの被災した里山の復興・再生をどうするか？

ポスター発表（会場：S32、 コアタイム 12月11日 13:00～14:00）

1	櫻井民人・関矢博幸・田 渕研・兼松誠司・榊原充 隆	（独）農研機構・東北農 業研究センター	有機栽培におけるケイ酸供給力の水田間差 と斑点米被害との関係
2	西川知宏	鳥取県農林総合研究所農 業試験場	もみ殻くん炭を用いて育成した有機水稻苗 の特徴およびイネミズゾウムシ発生水田で の生育
3	古川勇一郎・白鳥 豊	新潟県農業総合研究所	有機水稻の露地プール育苗における被覆資 材の選択方法
4	長谷川浩	（独）農研機構・東北農 業研究センター	東北地域における低投入・大規模有機水稻 栽培の技術的な成立要因—宮城県涌谷町の 事例—
5	唐澤敏彦 ¹ ・長岡一成 ¹ ・ 浦嶋泰文 ¹ ・山崎真嗣 ¹ ・ 竹中真 ¹ ・建部雅子 ¹ ・駒 田充生 ¹ ・佐藤文生 ² ・西 村誠一 ¹ ・加藤直人 ¹	（独）農研機構・中央農 業総合研究センター ¹ 、 （独）農研機構・野菜茶 業研究所 ²	有機栽培転換初期におけるニンジン・レタ スの収量と土壌酵素活性・可給態窒素の変 動
6	清水幸一	（財）微生物応用技術研 究所 名寄研究農場	有機農業における緑肥作物を利用した畑輪 作の作物生産収支
7	中川祥治	（財）微生物応用技術研 究所 名寄研究農場	サイズ規格外および不揃いジャガイモの品 質と消費者の購入意識
8	竹中 勲	奈良県農業総合センター	ハウレンソウ施設栽培におけるハウレンソ ウケナゴコナダニの耕種的防除の試み
9	三原実・森則子	佐賀県農業試験研究セン ター	小麦作におけるなたね油かすの施用位置と 雑草発生及び収量
10	木村園子ドロテア ¹ 、 Quang Sanh Pham ² 、Huong Le ³ 、角田真由美 ¹ 、斎藤 敦子 ¹ 、濱周吾 ⁴ 、田中 治夫 ¹ 、及川洋征 ¹	東京農工大学大学院農学 府 ¹ 、東京農工大学 JICA 草の根技術協力事業 ² 、フ エ大学 ³ 、JICA 個別派遣 専門家 ⁴	Bach Ma Charcoal Project における有機肥 料の製造技術の普及 - 炭入り有機肥料 「Bokashi-Than Bach Ma」の効果 -
11	中西良孝 ¹ ・岩成文子 ² ・ 高山耕二 ¹ ・来海芳久 ³	鹿児島大学農学部 ¹ 、島根 県畜産技術センター ² 、サ プロ島根 ³	資源循環型畜産推進のための食品製造副産 物の飼料利用—くま笹エキス残渣サイレー ジが山羊の養分摂取、行動ならびに健康状 態に及ぼす影響—
12	近江田優斉・山岸主門・ 井上憲一	島根大学生物資源科学部	「つくる人」と「食べる人」のつながり方 —島根県の「環境を守る農業宣言」を出発 点に—

※ 筆頭発表者はコアタイム（13:00～14:00）には必ずポスター前にいて下さい。